平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 永谷園　　上場取引所　東
コード番号 2899　URL http://www.nagatanien.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永谷 泰次郎
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 松村 雅彦　TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	52,908	△0.3	3,990	4.3	4,003	2.4	2,480	7.0
25年3月期第3四半期	53,075	3.7	3,826	△16.3	3,910	△16.0	2,318	△9.3

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　3,045百万円　(23.8%)　25年3月期第3四半期　2,459百万円　(△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	68.08	―
25年3月期第3四半期	60.91	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	68,128	27,750	40.6
25年3月期	56,072	25,625	45.6

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　27,653百万円　25年3月期　25,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	7.75	―	7.75	15.50
26年3月期	―	7.75	―		
26年3月期(予想)				7.75	15.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,600	1.6	3,700	3.5	3,800	3.7	2,250	2.3	62.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社 麦の穂ホールディングス 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	38,277,406 株	25年3月期	38,277,406 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,207,581 株	25年3月期	1,802,843 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	36,432,071 株	25年3月期3Q	38,058,721 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀による金融緩和や政府による経済政策への期待感から株価上昇や円安基調が進み、景気回復に明るい兆しが見られたものの、欧州経済の長期低迷や新興国をはじめとする世界経済の成長鈍化など懸念要因もあり、国内景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く市場環境は、高額商品などにおける消費意欲の向上も見られましたが、消費税増税や円安による原材料価格の高騰などを背景とした物価上昇不安から、消費者の節約志向は高く、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として、グループ総力を挙げて取り組んでまいりました。

「企業戦略の充実」につきましては、新たな事業領域への進出と既存事業との相乗効果を目的に、平成25年11月に主力ブランド「ビアードパパ」を有する株式会社麦の穂ホールディングスの全株式を取得いたしました。同社は“食”に対する姿勢、企業風土の面で、当社グループとの親和性が非常に高いことに加えて、これから経済成長が見込まれるＡＳＥＡＮ地域をはじめ、国内外に「直営」「フランチャイズ」という販売チャネルを有していることから、子会社化いたしました。

「新価値提案力の更なるアップ」につきましては、今までにない本格的な味わいとサクサクとした食感を特長とした平成25年８月発売の「超ふりかけ」が、お客様から高い支持をいただき売上に貢献いたしました。さらには、機能性商品の充実を目的に平成25年８月に発売した、玉ねぎに多く含まれる栄養素ケルセチンが入った「たまねぎのちから サラサラたまねぎスープ」が好調に推移し、日本食糧新聞社が主催する平成25年度食品ヒット大賞にて「優秀ヒット賞」を受賞いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高529億８百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益39億90百万円（同4.3%増）、経常利益40億３百万円（同2.4%増）、四半期純利益24億80百万円（同7.0%増）となりました。

なお、株式会社麦の穂ホールディングスにつきましては、当第３四半期連結会計期間末に連結の範囲に含めたため、当第３四半期連結累計期間における四半期連結損益計算書への影響はありません。

また、セグメント区分につきましては、従来の報告セグメントである「食料品事業」から区分し、報告セグメント以外の「その他」としております。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より120億56百万円増加し、681億28百万円となりました。これは主に、のれん、受取手形及び売掛金、現金及び預金が増加したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より99億31百万円増加し、403億78百万円となりました。これは主に、社債が減少したものの、短期借入金及び長期借入金が増加したことによるものです。また、純資産は主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことにより277億50百万円となりました。この結果、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は276億53百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.0ポイント低下の40.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第３四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、平成25年５月15日発表の通期業績予想に変更はありません。

なお、株式会社麦の穂ホールディングスを連結の範囲に含めたことによる当期連結業績予想への影響は現在精査中であり、変更の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結累計期間において、株式会社麦の穂ホールディングスの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これに伴い、当社グループは連結子会社が５社、持分法適用関連会社が１社増加しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,094	9,155
受取手形及び売掛金	10,886	12,571
商品及び製品	2,919	3,213
仕掛品	482	537
原材料及び貯蔵品	3,813	3,448
その他	1,144	1,783
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	27,337	30,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,586	16,115
減価償却累計額	△9,250	△10,156
建物及び構築物（純額）	5,336	5,958
機械装置及び運搬具	12,778	13,438
減価償却累計額	△9,785	△10,202
機械装置及び運搬具（純額）	2,992	3,235
土地	11,197	11,502
リース資産	2,146	1,991
減価償却累計額	△1,062	△1,004
リース資産（純額）	1,083	987
建設仮勘定	55	29
その他	1,756	2,007
減価償却累計額	△1,427	△1,637
その他（純額）	329	369
有形固定資産合計	20,994	22,083
無形固定資産		
のれん	15	6,555
その他	140	147
無形固定資産合計	156	6,703
投資その他の資産		
投資有価証券	6,174	6,964
その他	1,508	1,780
貸倒引当金	△98	△105
投資その他の資産合計	7,584	8,639
固定資産合計	28,735	37,427
資産合計	56,072	68,128

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,104	8,142
1年内償還予定の社債	7,000	－
短期借入金	3,894	11,368
未払法人税等	249	952
賞与引当金	520	267
その他	6,188	7,147
流動負債合計	24,957	27,879
固定負債		
社債	－	5,000
長期借入金	2,387	4,190
退職給付引当金	680	731
資産除去債務	52	216
その他	2,369	2,360
固定負債合計	5,490	12,498
負債合計	30,447	40,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,509	6,509
利益剰余金	19,825	21,740
自己株式	△1,590	△1,946
株主資本合計	28,246	29,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	1,150
土地再評価差額金	△3,303	△3,303
その他の包括利益累計額合計	△2,699	△2,152
少数株主持分	77	96
純資産合計	25,625	27,750
負債純資産合計	56,072	68,128

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	53,075	52,908
売上原価	28,835	28,783
売上総利益	24,240	24,124
販売費及び一般管理費		
販売促進費	9,183	9,313
賞与引当金繰入額	101	104
その他	11,128	10,715
販売費及び一般管理費合計	20,413	20,133
営業利益	3,826	3,990
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	103	109
不動産賃貸料	92	92
その他	88	79
営業外収益合計	285	283
営業外費用		
支払利息	97	85
その他	104	184
営業外費用合計	201	270
経常利益	3,910	4,003
特別損失		
固定資産除却損	85	－
投資有価証券評価損	219	5
関係会社出資金評価損	－	104
会員権評価損	99	－
社葬費用	7	－
特別損失合計	412	109
税金等調整前四半期純利益	3,497	3,893
法人税等	1,162	1,400
少数株主損益調整前四半期純利益	2,335	2,493
少数株主利益又は少数株主損失（△）	17	12
四半期純利益	2,318	2,480

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,335	2,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	552
その他の包括利益合計	124	552
四半期包括利益	2,459	3,045
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,442	3,026
少数株主に係る四半期包括利益	17	18

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,497	3,893
減価償却費	1,178	1,234
のれん償却額	23	15
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	1
賞与引当金の増減額（△は減少）	△302	△311
退職給付引当金の増減額（△は減少）	106	50
受取利息及び受取配当金	△104	△111
支払利息	97	85
投資有価証券売却損益（△は益）	0	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	219	5
関係会社出資金評価損	－	104
その他の営業外損益（△は益）	△5	△12
その他の償却額	17	25
有形固定資産除売却損益（△は益）	81	37
会員権評価損	99	－
社債発行費	－	29
売上債権の増減額（△は増加）	479	△1,386
たな卸資産の増減額（△は増加）	436	465
仕入債務の増減額（△は減少）	539	485
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△50	572
未払消費税等の増減額（△は減少）	137	101
その他の資産・負債の増減額	△7	△18
小計	6,448	5,268
利息及び配当金の受取額	106	111
利息の支払額	△94	△97
法人税等の支払額	△2,123	△752
法人税等の還付額	0	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,337	4,533

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△2
定期預金の払戻による収入	30	24
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,147	△1,503
有形固定資産の売却による収入	5	2
有価証券の償還による収入	100	－
関係会社貸付けによる支出	－	△20
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	4	2
差入保証金の差入による支出	△3	△1
差入保証金の回収による収入	8	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△7,649
その他	△5	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△9,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,700	7,300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△290	△310
長期借入れによる収入	－	2,000
長期借入金の返済による支出	△408	△371
社債の発行による収入	－	4,970
社債の償還による支出	－	△7,000
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△355
配当金の支払額	△543	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,943	5,713
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	360	1,082
現金及び現金同等物の期首残高	7,176	8,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,537	9,153

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年12月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株を351百万円で取得しました。主にこの影響により、当第３四半期連結累計期間において自己株式が356百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が1,946百万円となっております。